

1. 科目名 (単位数)	福祉と経営 I (2 単位)	3. 科目番号	SBMP1130						
2. 授業担当教員	古市 吉輝								
4. 授業形態	テキストを輪読し、その内容について教員による解説を加え、必要に応じ、受講生によるディスカッションを行う。	5. 開講学期	春期						
6. 履修条件・他科目との関係									
7. 講義概要	<p>社会福祉分野と経営分野は別々に発展した学問領域ではあるが、実は密接な関係性がある。社会福祉事業が機能するためには適切なマネジメントが図られる必要があるからだ。つまり、営利を目的としない福祉の現場においても、社会福祉施設が適切に運営されていくためには、適切なマネジメントが行われることが必要である。それだけではなく、一般企業においても、従業員の福利厚生やメンタルヘルスの向上の観点から、福祉マインドを持ったスタッフが求められ始めている。</p> <p>そこで、本講座では、適宜補足レジュメ等を用いながら、まず福祉マインドの醸成を目的としてまずは介護業界に絞って福祉における経営課題を学び、それぞれの解決策について考える。</p>								
8. 学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉(介護)業界の実態を理解できるようになる。 ・福祉(介護)業界における経営課題について理解できるようになる。 ・福祉(介護)業界が取るべき経営戦略のあり方を理解できるようになる。 								
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主体的に学習を行う上での基本となるので、各自学習課題にそって事前学習・事後学習を進めること。 2. 毎回の授業の冒頭に、前回の学習内容の理解度を確認するために、10分間の小テストを実施する。 3. 【期末レポート課題】 介護経営を構成する3つの要素である「人」「もの(サービス)」「金」に関する要点について述べなさい。(2,000字以上) 								
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 (社)日本介護福祉経営人材教育協会監修、馬場博編『はじめて学ぶ介護福祉のマネジメント』(介護福祉経営士入門研修テキスト)日本医療企画、2015。</p> <p>【参考書】 馬場博監修、介護経営の未来を考える委員会『現場リーダーのための介護経営のしくみ〔改訂版〕』日本医療企画、2014。 山縣文治・岡田忠克編『よくわかる社会福祉(第10版)』ミネルヴァ書房、2016。(社会福祉入門テキスト) 土方千代子・椎野裕美子『経営学の基本がきっちり理解できる本』秀和システム、2012。(経営学テキスト) 岡田広司『現代マネジメント概論』(現代経営学基礎講座I)あるむ、2011。</p>								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テキストの輪読や小テストを通じて、福祉業界について理解できたかどうか 2. レポートを通じて、福祉業界における経営課題について理解し、取るべき経営戦略を考えることができているか <p>○評定の方法</p> <table border="1"> <tr> <td>授業への積極的参加度</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>レポート</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>小テスト(毎回冒頭10分)</td> <td>30%</td> </tr> </table>			授業への積極的参加度	40%	レポート	30%	小テスト(毎回冒頭10分)	30%
授業への積極的参加度	40%								
レポート	30%								
小テスト(毎回冒頭10分)	30%								
12. 受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> 1. (ZOOM 授業の場合) 授業中はビデオおよびカメラを ON にすること。 特段の理由なくビデオを ON にせず、かつ教員の呼びかけにマイク等で反応しない学生は欠席扱いとする。 (対面授業の場合) 授業中にスマホ操作、私語、居眠りの多い者は教壇最前列に座らせる等、担当教員の厳格な指導下におく。 2. 日本的教育の基本である予習(授業前に自宅で行う授業内容を効果的に理解するための事前学習)・復習(授業後に自宅で行う授業内容の確認・定着のための事後学習)、宿題(授業後に課される授業内容をより良く理解するために自宅等で取り組み、定められた期限までに提出することが求められる課題)を必ず行うこと。(特に留学生にとっては、日本語で専門科目を学ぶ初めての機会となる科目なので、日本での留学の成果を効果的なものとするためにも、しっかり行うこと。) 3. この授業だけではなく、本学では事前学習・事後学習を行い、授業内で積極的にディスカッションに参加することが求められる。1年生のうちしっかりと事前学習、事後学習の習慣を身に付けていくこと。 4. 時間(納期)の厳守が日本の経営を支える理念的な基礎となっていることを踏まえ、遅刻・欠席については厳しく対応する。特に、福祉業界の職員が遅刻することは、サービス利用者を不必要に待たすことによりサービス利用者の時間を不当に奪うことになるということを理解しておくこと。 以上のことを理解した上で、積極的に授業に参加することを意識すること。 								
13. オフィスアワー	授業中に通知する。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	イントロダクション 高齢化の進展と拡大する介護サービス市場	事前学習	テキスト pp.1~7 を読んでくること。						
		事後学習	介護サービス市場の動向・市場規模の理解。						
第2回	介護保険施設・事業所の経営	事前学習	テキスト pp.7~16 を読んでくること。						
		事後学習	介護保険施設・事業所の経営状況の理解。						
第3回	地域包括ケアの役割	事前学習	テキスト pp.17~27 を読んでくること。						
		事後学習	地域包括ケアの役割を理解する。						

第4回	介護人材の見通しと確保の方策	事前学習	テキスト pp. 28～33 を読んでくること。
		事後学習	介護人材の見通しと確保の方策の理解。
第5回	サービス供給主体の多様性	事前学習	テキスト pp. 34～49 を読んでくること。
		事後学習	サービス供給主体の多様性を理解する。
第6回	サービス供給における利用者と供給主体の関係	事前学習	テキスト pp. 45～49 を読んでくること。
		事後学習	サービス供給主体と利用者の関係を理解。
第7回	介護保険制度のしくみ	事前学習	テキスト pp. 51～67 を読んでくること。
		事後学習	介護保険制度の仕組みを理解する。
第8回	介護福祉事業経営を理解する 組織の経営資源「人」「もの」	事前学習	テキスト pp. 68～78 を読んでくること。
		事後学習	組織の経営資源「人」「もの」について理解する。
第9回	介護福祉事業経営を理解する 組織の経営資源「金」	事前学習	テキスト pp. 79～87 を読んでくること。
		事後学習	組織の経営資源「金」について理解する。
第10回	介護福祉サービスにおける行政機関の役割	事前学習	テキスト pp. 88～95 を読んでくること。
		事後学習	組織の経営資源「人」「もの」について理解。
第11回	介護福祉サービス業務経営に必要な要素 「利用者」「経営理念」「サービス提供」	事前学習	テキスト pp. 97～115 を読んでくること。
		事後学習	介護福祉サービスの業務経営に必要な要素を理解する。
第12回	介護福祉サービス業務経営に必要な要素 「組織」「職員管理」「財務・コスト管理」	事前学習	テキスト pp. 115～128 を読んでくること。
		事後学習	介護福祉サービスの業務経営に必要な要素を理解する。
第13回	リーダーシップ論	事前学習	テキスト pp. 129～145 を読んでくること。
		事後学習	介護福祉事業に求められるマネジメントスキルを理解する。
第14回	社会に貢献する組織をつくる	事前学習	テキスト pp. 146～160 を読んでくること。
		事後学習	社会に貢献する組織について理解する。
第15回	まとめ	事前学習	事前配布資料をよく読んでくること。
		事後学習	これまでの学習を振り返り、福祉業界における経営課題の解決策について考える。
期末試験			